

幼児スポーツに力

全天候型ドームを備えた大型の幼児園が、JR与野駅西口近くのさいたま市中央区新中里5丁目に出現した。10月に開園した「キッズ大陸さいたま与野園」(☎048・823・7111)で、スポーツ教育を中心に据え、認可外保育とクラブ活動(習い事)を組み合わせで行う。全国で専門学校や大学などを運営する学校法人・三幸学園が、幼児教育のニーズが高いとされる文教都市・さいたま市で第一弾として開設し、今後、首都圏での展開を図るといふ。

◆通常保育でサッカー、水泳、地に本格的なフットサルコートで継続できる。



キッズ大陸さいたま与野園

2面が入った全天候型ドーム(約1500平方メートル)、25メートルトルプール3レーン、アリーナ(約460平方メートル)、ダンススタジオ、14の園室を備え、総工費は約7億5千万円。

利用対象は2〜5歳児。通常保育内でサッカーや体操、水泳を行い、クラブ活動でさらにダンス、テニス、空手、バスケットボールなどのスポーツや美術、英会話、ピアノなどの教育カリキュラムを選べる。小学校入学後も放課後児童クラブとして



夕方のクラブ活動で、ダンスを習う幼児ら

4月に本格オープン、最終的な募集定員は240人と設定している。

◆いろんな体験させたい

午後2時半、昼寝から目覚めた3歳児クラスの幼児らが、フットサルコートに駆け出してボール遊び。広々としたコートでトコトコと走り回る。

ダンススタジオのクラブ活動には、体験入園も含め4人の幼児が参加。長男(3)を入園させた主婦(32)は「いろんなスポーツを体験できるので、将来やりたいものを選ぶ幅が広がる」と話す。夫が転勤族という主婦(33)は「前の勤務地で長男がスポーツ型保育施設に入っ



お昼寝後、全天候型ドームでボール遊びをする幼児ら
—さいたま市中央区のキッズ大陸さいたま与野園

てみて良かったので、次男(3)も通わせたい。スポーツ選手にしたいとかは思っていないが、運動ができる学校が楽しいと思つと話した。

同園の保育料は月額4万8千円だが、入園料(10万円)や設備費、クラブ活動費(1科目月額5500円から)などが別途かかる。トータルでは一般の保育施設よりもやや割高だ。午後5時以降の延長保育や土曜保育も行っている。

同園の鳥居秀光理事長は「努力を怠らな

力すればできるという小さな成功体験を積み重ねて、自信を持って何事にも挑戦できる子に育ててもらいたい。スポーツはそれが一番分かりやすく伝えられる」と話している。